

開学10年_今までと_これから

秋

田公立美術大学開学10周年記念展は、四年制大学開学からの10年間に醸成された、地域と密接につながる秋田公立美術大学(あきび)特有の問題意識に裏付けられた教育・研究方針とその方法論に基づく成果を、市民と共にふり返る場として企画しました。市民に支えられながらも市民へ問いを投げかけ、共に芸術を介した新しい価値観と生活を思い描くことを目指しています。

本展覧会は以下6つの章により構成します。

01. 美大(あきび)の入試
秋美の入試とは何か?入試の意図、過去の入試モチーフ、解答を赤裸々に展示。
02. 風景を拓く
学生の描く心象風景から教員による都市計画まで、変容していく地域の風景。
03. 過去の再定義
固定化された価値を新しく柔らかなものへと捉え直す試みとその対象の発見。
04. 歩く・聴く・探す
「秋美型フィールドワーク」から獲得されたさまざまな視点。
05. 未来をつくる
社会の諸相と多様化を踏まえ、より良い未来に向けて秋美ができること。
06. 越境する表現者たち
秋田の環境と秋美の教育が育んだ現役生~卒業生による新たな芸術領域への挑戦。

これらの章立てが織りなす説話的な効果として、鑑賞者が秋美という未知の施設に足を踏み入れ(=入学)、いくつかの学内成果や関連表現を鑑賞・体験することで、秋美が何を探求し、どのような成果を上げているのかをひとりの「学生」として追体験しながら、最終的に卒業制作を中心とした作品群を通り抜けるまで(=卒業)

つくる
ともに
創る



五月女かおる《暖かな犬-the dog series-》



《山衣をほどく》(2023年VOCA賞)と作家の永沢碧衣、推薦者の石倉准教授
当該作品は、会期後半から展示予定



石山友美《秋田8ミリフィルム・アンソロジー》



菊地百恵
《塗装少女フィギュアトリロジー》

を疑似体験するという物語を形成します。作品・資料展示のほか、「市民の声」「学生の本音」「中高校教員」「行政関係者」などにヒアリングした映像コンテンツを各章でご紹介します。

[展覧会構成チームメンバー]キュレーション:岩井成昭、小杉栄次郎、瀬沼健太郎 / 会場構成:小杉栄次郎 / 映像コンテンツ:萩原健一 / 関連イベント:瀬沼健太郎 / 会場デザイン:石川昌&CD専攻学生チーム / 制作:P3 art and environment / 関連イベント企画・制作:NPO法人アーツセンターあきた [後援]秋田市、秋田魁新報社、NHK秋田放送局、ABS秋田放送、AKT秋田テレビ、AAB秋田朝日放送、CNA秋田ケーブルテレビ、あきびネット



今中隆介、柚木恵介
《BLOOMING TRAIN OGA》

美10年

あきび
じゅうねん

秋田公立美術大学 開学10周年記念展

[お問い合わせ] 秋田公立美術大学 018-888-8478

秋田市文化創造館

〒010-0875 秋田県秋田市千秋明徳町3-16

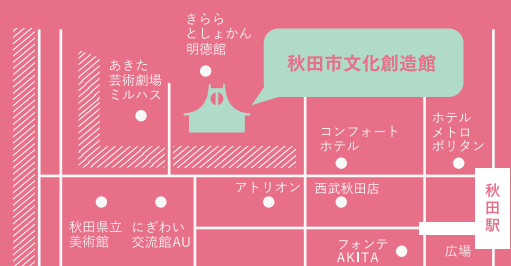
<https://chronicle.akibi.ac.jp>

Twitter @AkitaUnivofArt

Facebook 秋田公立美術大学

Instagram @akita_university_of_art

主催: 公立大学法人秋田公立美術大学



つくるをともに創る

週末は

関連イベント実施!



詳しくは
ホームページ/
SNSをご覧ください。

開場時間

[月 - 金] 12:00 ~ 20:00

[土・日・祝] 10:00 ~ 20:00

休館日
火 曜

※ 8/4(金)は10:00~20:00、最終日8/7(月)は10:00~19:00

入 場 無 料



美大 10年

あきび
じゅう
ねん

秋田公立美術大学
開学10周年記念展

2023

7/6(木)~8/7(月) 秋田市文化創造館